

# クロアチア情勢

## 主な出来事

2016年12月

### 内政

- 1日、スラボニア＝バラニャ・クロアチア民主連盟(HDSSB, 1議席)は、議会において、閣外協力政党である社会自由党(HSLS)及びキリスト教民主党(HDS)クラブに加入し、議会多数派の一員を形成することとなった。
- 1日、オレピッチ内相は、スルダレビッチ新警察長官を任命(任期5年)。
- 2日、議会は、明(2017)年1月1日より発効の「税制改革パッケージ」法案を可決。
- 3日、社会民主党(SDP)は、新しく4名の副党首を任命(コマディナ・プリモリエ・ゴラン県知事、ラロバツ前財務相、オストイッチ前内相、グルビン議会議員)。
- 6日、ドゥブロブニク(当国南部)において、「ドゥブロブニク防衛者の日」及び「祖国防衛戦争」で同地方の防衛成功から25年が経過したことを祝う記念式典開催。グラバル＝キタロビッチ大統領、クルスティチェビッチ副首相兼国防相、メドベド退役軍人相が献花を行った。
- 9日、議会は、新法「公共調達法」を賛成多数で採択。これにより、公共調達入札における採用基準が、価格のみならず、同法で定められたいくつかの基準に基づくものに変更される。
- 13－16日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、当国北部バラジュディン(13－14日)及びチャコベツツ(15－16日)に臨時大統領府を設置。
- 15日、議会は、2017年度予算(歳入1216億クーナ(約1兆9456億円)、歳出1284億クーナ(約2兆544億円))を賛成多数(賛成:86, 反対:37, 棄権:4)で可決。
- 18日、新党「新しい左派(The New Left)」結党。マルコビナ党首(歴史家・活動家)が就任。
- 19日、大統領府は、クルストゥロビッチ＝オパラ社会問題担当顧問(HDZ所属)が明年のスプリット市長選出馬のため辞任することを受けて、マルガレティッチ＝ウルリッチ女史を社会活動・青年顧問として任命。

## 外交

- 2日、ザグレブにおいて、経済・中小企業省及び外務・欧州問題省が主催した「南東欧協力プロセス(SEECP)」閣僚級会合(SEECP加盟13か国:アルバニア、ボスニア・ヘルツェゴビナ(BH)、ブルガリア、クロアチア、ギリシャ、コソボ、マケドニア、モルドバ、モンテネグロ、ルーマニア、セルビア、スロベニア、トルコが参加)が開催され、ダリッチ副首相兼経済・中小企業相が議長を務めた。
- 3日、米国政府及び同軍は、クロアチア軍に対し、11機の軍事ヘリコプター(OH-58D Kiowa)を寄贈。(本年7月に最初の5機を受領。本件により、計16機が米政府より寄贈された。)
- 6-7日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、NATO外相会合出席のため、ブリュッセルを訪問。同地において、シュタインマイヤー独外相及びチャヴシュオール・トルコ外相とそれぞれ会談。
- 8-9日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、欧州安全保障協力機構(OSCE)外相会合出席のため、ハンブルク(独)を訪問。同地において、同会合に出席していた岸外務副大臣を始め、ウクライナ、ジョージア、ノルウェー及びマケドニア外相と会談した。
- 11-12日、プレンコビッチ首相は、ベルリンを公式訪問し、メルケル独首相と会談(12日)。
- 12日、オレピッチ内相は、当国訪問中のソボトカ境内相と会談。
- 12-13日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、EU外務理事会出席のため、ブリュッセルを訪問。また理事会の際に実施されたセルビア及びモンテネグロのEU加盟交渉に関する政府間会合にも出席した。
- 13日、プレンコビッチ首相は、バイデン米副大統領と電話会談を実施。南東欧地域情勢、南東欧諸国のEU・NATO加盟に向けたクロアチアの役割及びセルビアのEU加盟交渉チャプター26(教育及び文化)に対するクロアチア側留保につき意見交換した。
- 13-16日、クルスティチェビッチ副首相兼国防相、シュンドフ・クロアチア軍参謀総長及びマルキッチ治安・情報庁(SOA)長官らは、アフガニスタンを訪問し、NATOが展開する「確固たる支援」任務に参加しているクロアチア部隊と面会。
- 14日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、ベルリンを訪問し、シュタインマイヤー独外相と会談。
- 15日、プレンコビッチ首相は、欧州理事会出席のため、ブリュッセルを訪問。
- 16日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、シュナイダー＝アマン・スイス大統領との電話会談において、スイス政府が人の自由移動に関するスイス・EU協定のクロアチアへの適用拡大のための議定書Ⅲを批准(2017年1月1日発効)した旨通知を受けた。
- 16日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、ザグレブにおいて米国・アドリア憲章パートナーシップ会合を開催(クロアチアは本年の議長国)。加盟国である米国代表团及びクロアチア、アルバニア、BH、マケドニア、モンテネグロ並びにオブザーバー国であるセルビア、スロベニア、コソボから外相が出席。

●17日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、伊ローマを訪問し、バチカンにおいて、ギャラガー・ローマ法皇庁外務長官及びパロリン同国務長官と会談。また、アルファノー伊新外相と会談。

●19日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、奥ウィーンを訪問し、ファン・デア・ベレン同国次期大統領と会談。

●19日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、同日夕方トルコ・アンカラで発生した同国駐在露大使銃撃殺害事件を受けて、ラブロフ露外相宛に弔意のメッセージを発出。

●20日、プレンコビッチ首相及びシュティール副首相兼外務・欧州問題相は、昨夕発生したベルリン市内クリスマスマーケットへのトラック突入事件を受けて、それぞれメルケル独首相及びシュタインマイヤー同外相宛に弔意のメッセージを発出。

●20日、シュティール副首相兼外務・欧州問題相は、当国訪問中のペヨビッチ・モンテネグロ欧州問題相と会談。

●21日、グラバル＝キタロビッチ大統領は、ベルリン市内クリスマスマーケットへのトラック突入事件及びヨルダン・カラク県でのテロ事件を受けて、ガウク独大統領及びアブドッラー2世・ヨルダン国王に対し弔意のメッセージを発出。

●23日、セルビアにおいて少数民族言語での教科書出版に関する覚書付属書が署名されたことを受け、クロアチアは、セルビアのEU加盟交渉チャプター26(教育及び文化)開始に対する留保を解除する旨発表。

## 経済

●6日、スプリット空港当局は、同空港近代化及び乗客ターミナル拡張プロジェクトについて、Kamgrad, Vadukt 及び KFK Tehnika の3社と契約締結の署名を実施。同プロジェクトの総額は約3.5億クーナであり、来年1月より作業開始予定。

●16日、信用格付企業S&Pは、クロアチアのソブリン格付けを公表。2016年の想定以上の高い経済成長率と政治的不安定性の低下を反映して、見通しを「ネガティブ」から「安定(stable)」へ上方改定した。他方、格付けそのものは、公的債務残高が、減少傾向にあるものの、依然として高い水準にあることから、自国通貨建て及び外貨建て発行体について、長期を「BB」及び短期を「B」(いずれも投機的等級)のまま据え置いた。

●20日、クロアチア中央銀行は2016年及び2017年の経済成長率予測をそれぞれ、2.3%から2.8%, 2.5%から3.0%に上方改定した。

●24日、プレンコビッチ首相は、クロアチア政府としてMOLが保有する全てのINA株式を買い取することを決定した旨発表。

●30日、プレンコビッチ首相は、クロアチア政府がMOL保有のINA株式買い取りの原資としてHEP(クロアチア電力公社)の新規株式公開(IPO)による利益を充てることを想定している旨発言。IPOの対象となるのは、HEP総株式の25%マイナス1株となる見込み。

## 主要経済指標

(2016年月次データ, 対前年同期比(除く失業率), 政府統計局発表)

| 輸出総額<br>(10月)                   | 輸入総額<br>(10月)                      | 貿易赤字<br>(10月)                   | 工業生産高<br>(11月)      | インフレ率<br>(11月)       | 失業率(登録制)<br>(11月)    |
|---------------------------------|------------------------------------|---------------------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| +3.2%<br>(747 億クーナ,<br>99 億ユーロ) | +3.1%<br>(1,214 億クーナ,<br>161 億ユーロ) | +3.0%<br>(467 億クーナ,<br>62 億ユーロ) | +7.1%<br>(10月:1.8%) | -0.2%<br>(10月:-0.5%) | 14.4%<br>(10月:14.0%) |

本クロアチア情勢は、クロアチアの政治・経済情勢を中心に各種報道、発表をとりまとめたものですので、記載事項については在クロアチア日本大使館の見解を示すものではなく、特定の団体・個人の利益を代表するものではありません。